

住宅性能評価を受けた新築住宅に係る統計情報

国土交通省住宅局住宅生産課  
一般社団法人住宅性能評価・表示協会

本統計資料は、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく「住宅性能表示制度」において、一般社団法人住宅性能評価・表示協会が、平成23年度に交付された新築住宅の建設住宅性能評価書に係るデータを収集し集計結果をとりまとめたものです。

参考：平成23年度の住宅性能表示制度の普及率

新築住宅着工		設計住宅性能評価			建設住宅性能評価	
戸数 (A)	受付戸数	交付戸数 (B)	普及率 (C=B/A)	受付戸数	交付戸数	
841,246	200,424	197,748	23.5%	173,006	164,591	
一戸建ての 住宅	428,683	91,961	92,092	21.5%	78,406	78,940
共同住宅等	412,563	108,463	105,656	25.6%	94,600	85,651

(注)交付戸数には、平成21年度以前に受付をした住宅が含まれることなどにより、交付戸数が受付戸数を上回る場合があります。

平成23年度 建設住宅性能評価書（新築）データ目次

注1：1-6、1-7、6-3、7-2の性能表示事項は、自由記入方式等でデータ収集を行っているため、現在のところ集計しておりません。

注2：1-3、4-3、4-4の評価方法基準は、平成19年4月1日以降に設計住宅性能評価が申請される住宅から適用されています。

第1章 平成23年度 建設住宅性能評価書（新築）データ（一戸建ての住宅）	3
1 構造の安定に関すること	3
2 火災時の安全に関すること	6
3 劣化の軽減に関すること	8
4 維持管理・更新への配慮に関すること	9
5 温熱環境に関すること	10
6 空気環境に関すること	11
7 光・視環境に関すること	15
8 音環境に関すること	16
9 高齢者等への配慮に関すること	19
10 防犯に関すること	20
第2章 平成23年度 建設住宅性能評価書（新築）データ（共同住宅等）	23
1 構造の安定に関すること	23
2 火災時の安全に関すること	26
3 劣化の軽減に関すること	31
4 維持管理・更新への配慮に関すること	32
5 温熱環境に関すること	37
6 空気環境に関すること	38
7 光・視環境に関すること	42
8 音環境に関すること	43
9 高齢者等への配慮に関すること	57
10 防犯に関すること	58

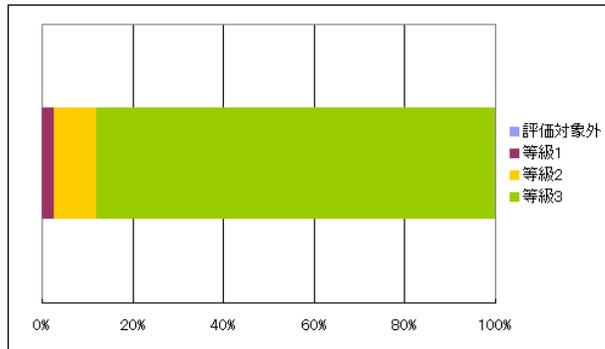
1 構造の安定に関すること

1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止)

地震に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ

	評価対象外※	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	11	2,131	7,227	68,458	77,827
%	0.0%	2.7%	9.3%	88.0%	100.0%

※1-3において免震建築物であるとされたもの。

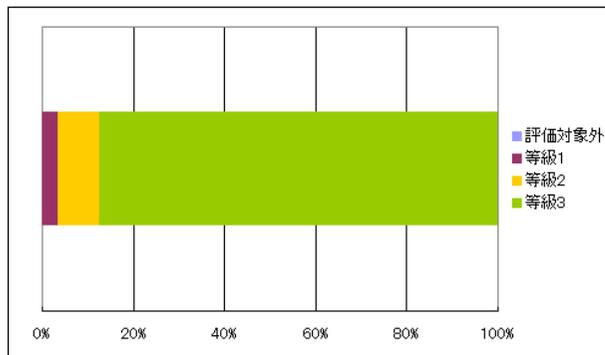


1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止)

地震に対する構造躯体の損傷 (大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷) の生じにくさ

	評価対象外※	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	11	2,659	7,206	67,951	77,827
%	0.0%	3.4%	9.3%	87.3%	100.0%

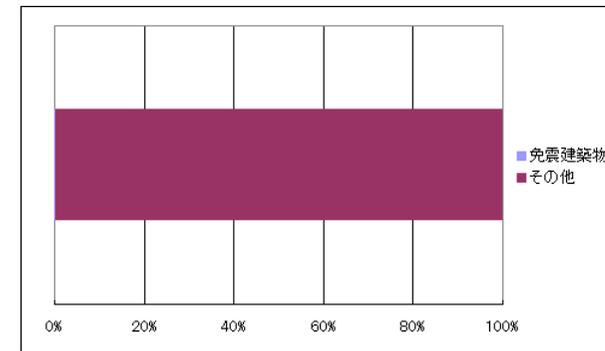
※1-3において免震建築物であるとされたもの。



1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)

評価対象建築物が免震建築物であるか否か

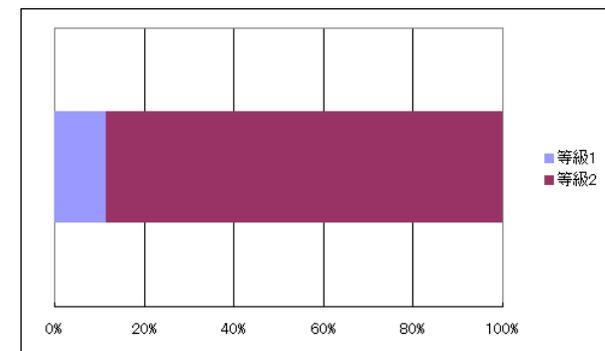
	免震建築物	その他	合計
戸数	225	77,279	77,504
%	0.3%	99.7%	100.0%



1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)

暴風に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ及び構造躯体の損傷 (大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷) の生じにくさ

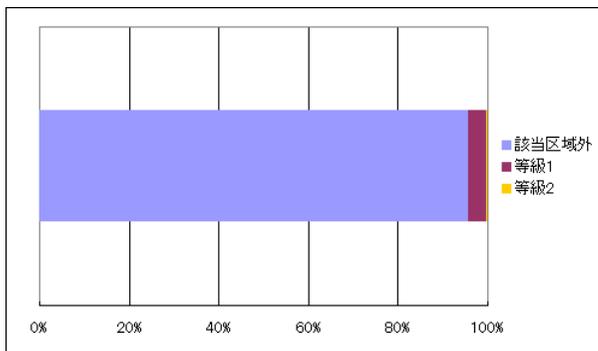
	等級1	等級2	合計
戸数	8,923	68,904	77,827
%	11.5%	88.5%	100.0%



1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）

屋根の積雪に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ及び構造躯体の損傷（大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷）の生じにくさ

	該当区域外	等級1	等級2	合計
戸数	74,583	3,049	195	77,827
%	95.8%	3.9%	0.3%	100.0%

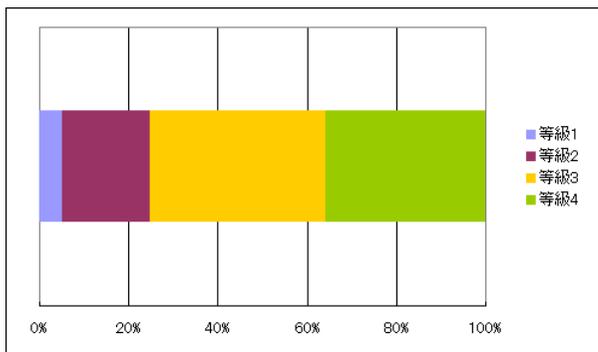


2 火災時の安全に関すること

2-1 感知警報装置設置等級（自住戸火災時）

評価対象住戸において発生した火災の早期の覚知のしやすさ

	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	4,081	15,284	30,467	27,995	77,827
%	5.2%	19.6%	39.1%	36.0%	100.0%

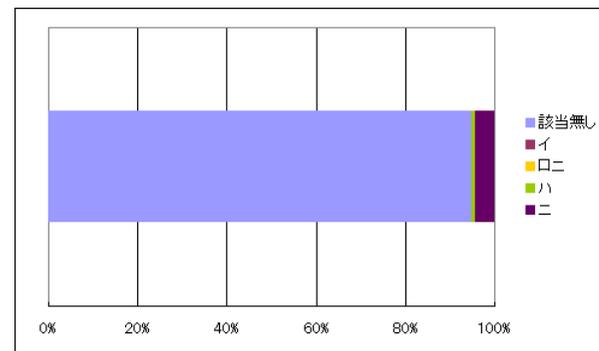


2-4 脱出対策（火災時）

通常の歩行経路が使用できない場合の緊急的な脱出のための対策

イ. 直通階段に直接通ずるバルコニー ロ. 隣戸に通ずるバルコニー ハ. 避難器具 ニ. その他

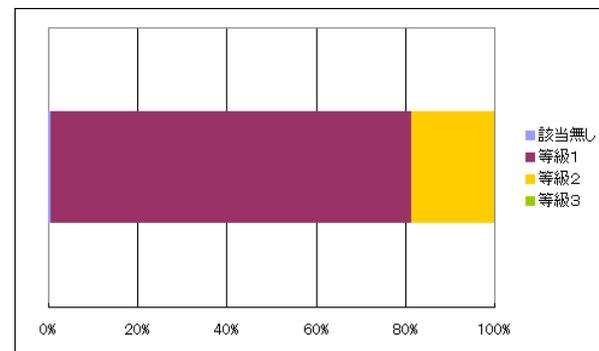
	該当なし	イ	ロニ	ハ	ニ	合計
戸数	73,817	1	1	641	3,367	77,827
%	94.8%	0.0%	0.0%	0.8%	4.3%	100.0%



2-5 耐火等級（延焼のおそれのある部分〔開口部〕）

延焼のおそれのある部分の開口部に係る火災による火炎を遮る時間の長さ

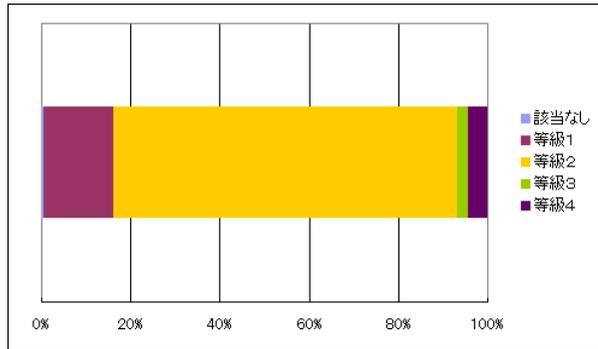
	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	517	62,871	14,421	18	77,827
%	0.7%	80.8%	18.5%	0.0%	100.0%



2-6 耐火等級（延焼のおそれのある部分〔開口部以外〕）

延焼のおそれのある部分の外壁等（開口部以外）に係る火災による火熱を遮る時間の長さ

	該当なし	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	356	12,188	60,034	1,817	3,432	77,827
%	0.5%	15.7%	77.1%	2.3%	4.4%	100.0%

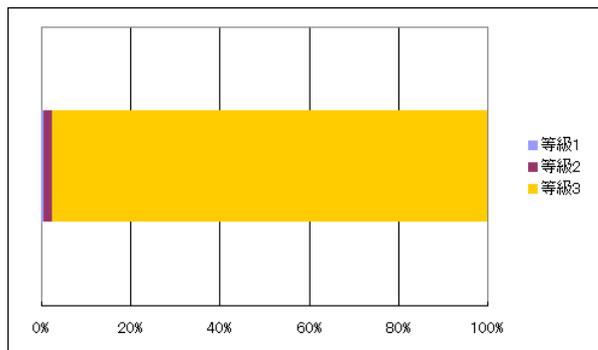


### 3 劣化の軽減に関すること

#### 3-1 劣化対策等級（構造躯体等）

構造躯体等に使用する材料の交換等大規模な改修工事を必要とするまでの期間を伸長するため必要な対策の程度

	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	448	1,378	76,001	77,827
%	0.6%	1.8%	97.7%	100.0%

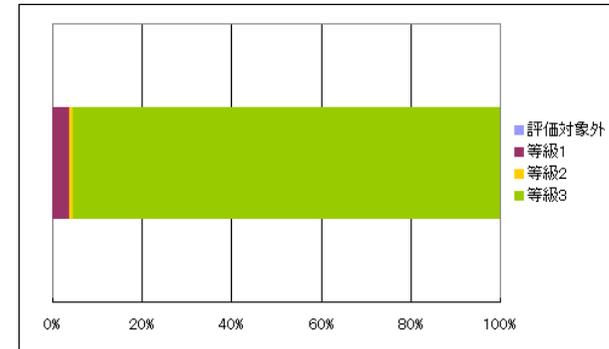


### 4 維持管理・更新への配慮に関すること

#### 4-1 維持管理対策等級（専用配管）

専用の給排水管・給湯管及びガス管の維持管理（清掃、点検及び補修）を容易とするため必要な対策の程度

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	8	2,999	526	74,294	77,827
%	0.0%	3.9%	0.7%	95.5%	100.0%

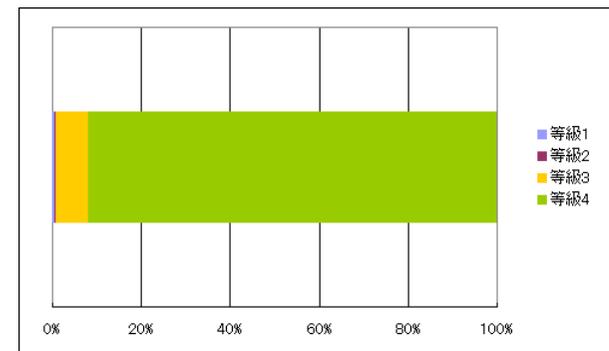


### 5 温熱環境に関すること

#### 5-1 省エネルギー対策等級

暖冷房に使用するエネルギーの削減のための断熱化等による対策の程度

	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	327	383	5,482	71,635	77,827
%	0.4%	0.5%	7.0%	92.0%	100.0%



## 6 空気環境に関すること

### 6-1 ホルムアルデヒド対策（内装及び天井裏等）

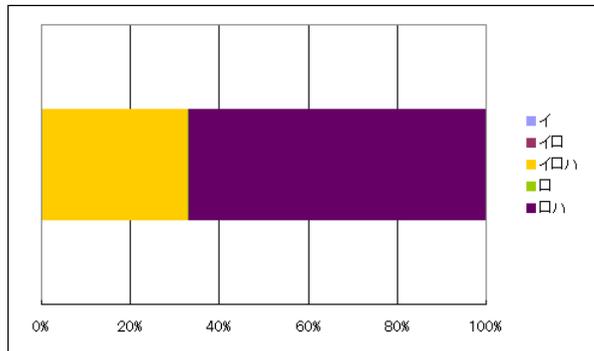
居室の内装の仕上げ及び換気等の措置のない天井裏等の下地材等からのホルムアルデヒドの発散量を少なくする対策

- イ. 製材等（丸太及び単層フローリングを含む）を使用する
- ロ. 特定建材を使用する

ハ. その他の建材を使用する

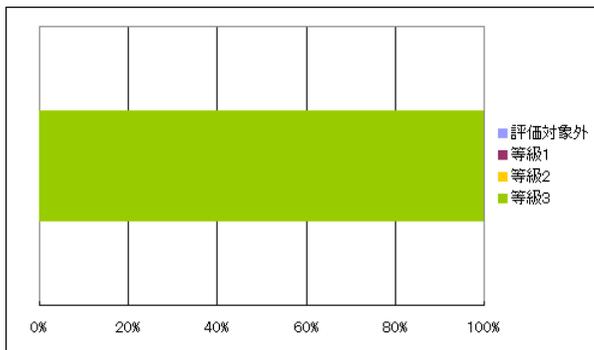
（結果が「特定建材を使用する」の場合のみ、以下の「ホルムアルデヒド発散等級」の結果を表示する）

	イ	イロ	イロハ	ロ	ロハ	合計
戸数	7	130	25,553	33	52,104	77,827
%	0.0%	0.2%	32.8%	0.0%	66.9%	100.0%



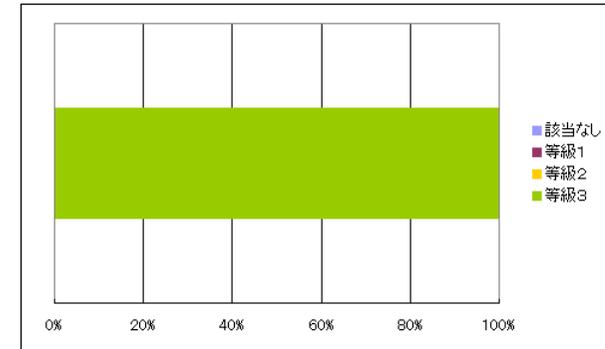
居室の内装の仕上げに使用される特定建材からのホルムアルデヒドの発散量の少なさ

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	5	8	13	77,787	77,808
%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%



換気等の措置のない天井裏等の下地材等に使用される特定建材からのホルムアルデヒドの発散量の少なさ

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	15	0	161	77,636	77,812
%	0.0%	0.0%	0.2%	99.8%	100.0%



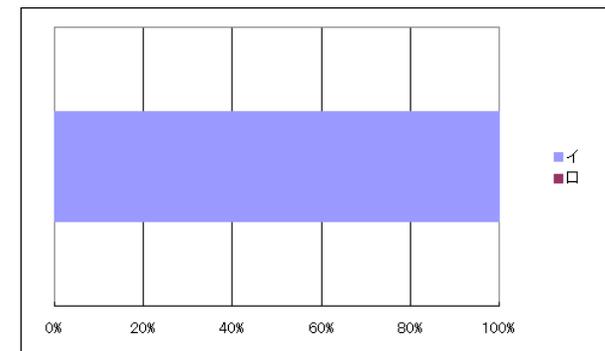
### 6-2 換気対策

居室の換気対策

室内空気中の汚染物質及び湿気を屋外に除去するための必要な換気対策

住宅の居室に必要な換気量が確保できる対策：イ. 機械換気設備 ロ. その他

	イ	ロ	合計
戸数	77,811	16	77,827
%	100.0%	0.0%	100.0%

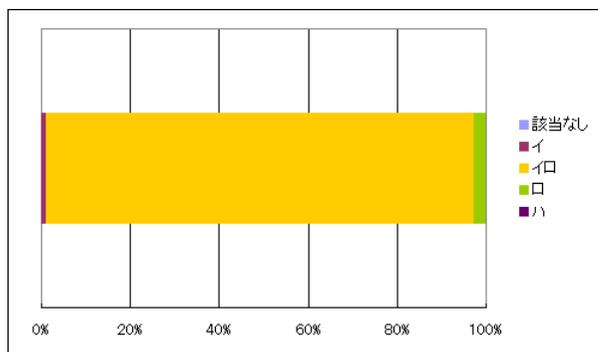


## 局所換気対策（便所）

### 換気上重要な便所の換気のための対策

便所：イ、機械換気設備 ロ、換気のできる窓 ハ、なし

	該当なし	イ	イロ	ロ	ハ	合計
戸数	41	722	74,978	2,084	2	77,827
%	0.1%	0.9%	96.3%	2.7%	0.0%	100.0%

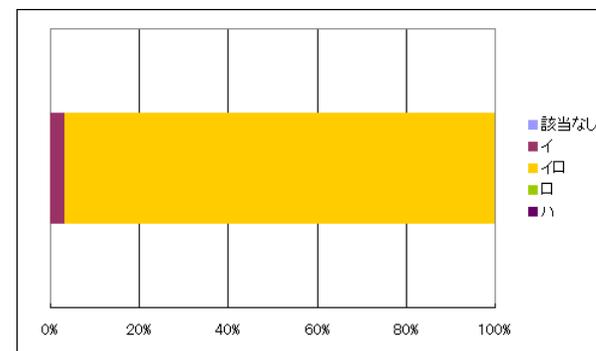


## 局所換気対策（台所）

### 換気上重要な浴室の換気のための対策

台所：イ、機械換気設備 ロ、換気のできる窓 ハ、なし

	該当なし	イ	イロ	ロ	ハ	合計
戸数	51	2,374	75,378	15	9	77,827
%	0.1%	3.1%	96.9%	0.0%	0.0%	100.0%

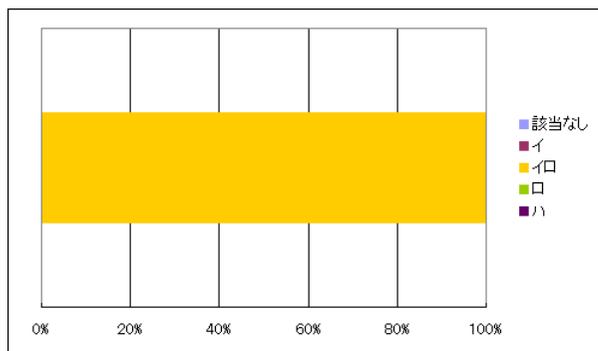


## 局所換気対策（浴室）

### 換気上重要な浴室の換気のための対策

浴室：イ、機械換気設備 ロ、換気のできる窓 ハ、なし

	該当なし	イ	イロ	ロ	ハ	合計
戸数	52	234	77,516	20	5	77,827
%	0.1%	0.3%	99.6%	0.0%	0.0%	100.0%

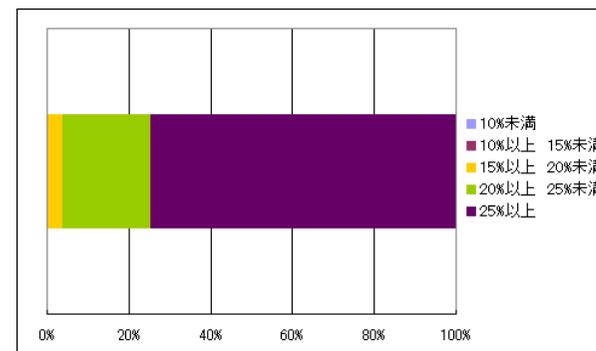


## 7 光・視環境に関すること

### 7-1 単純開口率

居室の外壁又は屋根に設けられた開口部の面積の床面積に対する割合の大きさ

	10%未満	10%以上 15%未満	15%以上 20%未満	20%以上 25%未満	25%以上	合計
戸数	20	203	2,688	16,751	58,158	77,820
%	0.0%	0.3%	3.5%	21.5%	74.7%	100.0%

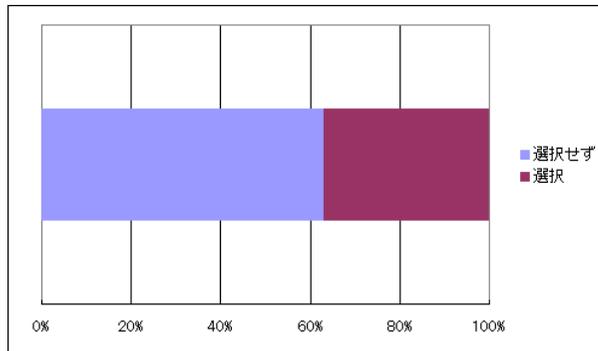


## 8 音環境に関すること

### 8-4 透過損失等級（外壁開口部）

居室の外壁に設けられた開口部に方位別に使用するサッシによる空気伝搬音の遮断の程度

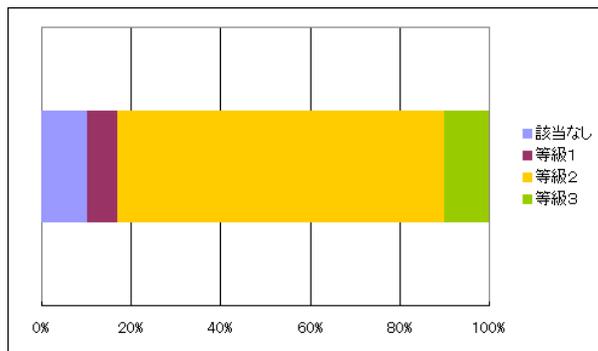
	選択せず	選択	合計
戸数	49,089	28,738	77,827
%	63.1%	36.9%	100.0%



### 透過損失等級（外壁開口部） 北

北面：居室の外壁に設けられた開口部に方位別に使用するサッシによる空気伝搬音の遮断の程度

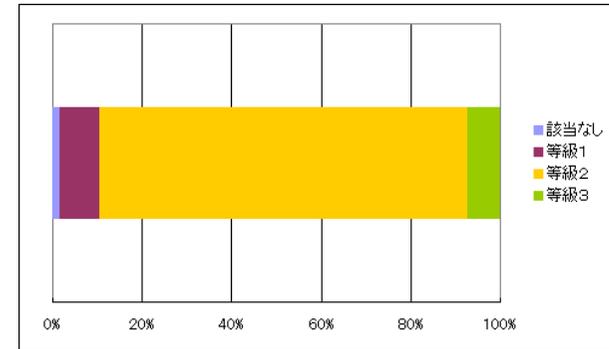
	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	2,938	1,939	21,025	2,895	28,797
%	10.2%	6.7%	73.0%	10.1%	100.0%



### 透過損失等級（外壁開口部） 東

東面：居室の外壁に設けられた開口部に方位別に使用するサッシによる空気伝搬音の遮断の程度

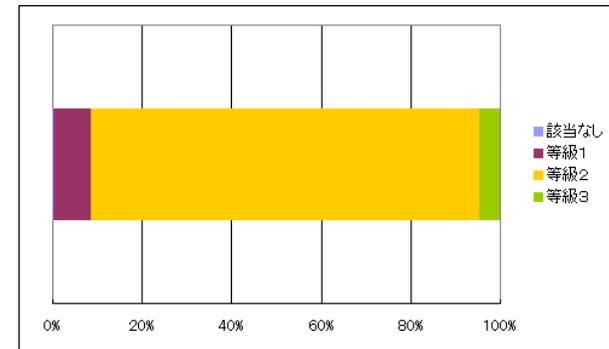
	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	432	2,586	23,680	2,099	28,797
%	1.5%	9.0%	82.2%	7.3%	100.0%



### 透過損失等級（外壁開口部） 南

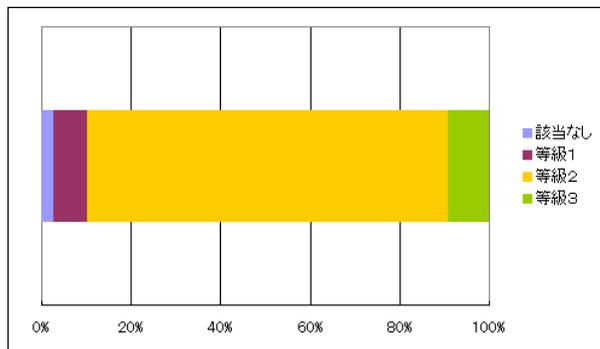
南面：居室の外壁に設けられた開口部に方位別に使用するサッシによる空気伝搬音の遮断の程度

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	89	2,410	24,947	1,351	28,797
%	0.3%	8.4%	86.6%	4.7%	100.0%



西面：居室の外壁に設けられた開口部に方位別に使用するサッシによる空気伝搬音の遮断の程度

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	798	2,139	23,224	2,636	28,797
%	2.8%	7.4%	80.6%	9.2%	100.0%

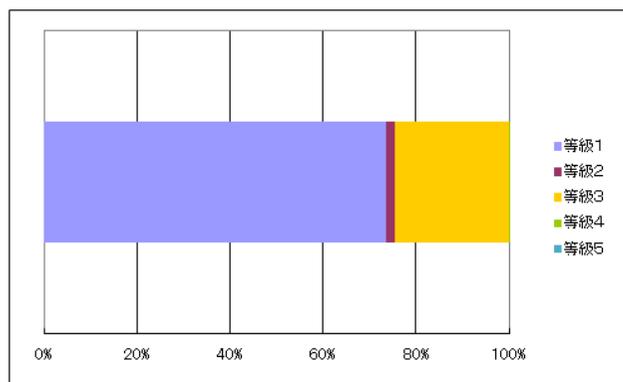


## 9 高齢者等への配慮に関すること

### 9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分）

住戸内における高齢者等への配慮のために必要な対策の程度

	等級1	等級2	等級3	等級4	等級5	合計
戸数	57,317	1,352	19,145	13	0	77,827
%	73.6%	1.7%	24.6%	0.0%	0.0%	100.0%



## 10 防犯に関すること

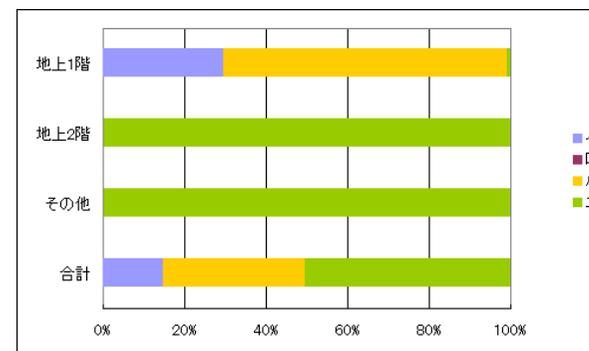
### 10-1 開口部の侵入防止対策

通常想定される侵入行為による外部からの侵入を防止するための対策

イ	すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である。
ロ	すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である。ただし、シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる。
ハ	その他
ニ	該当する開口部なし

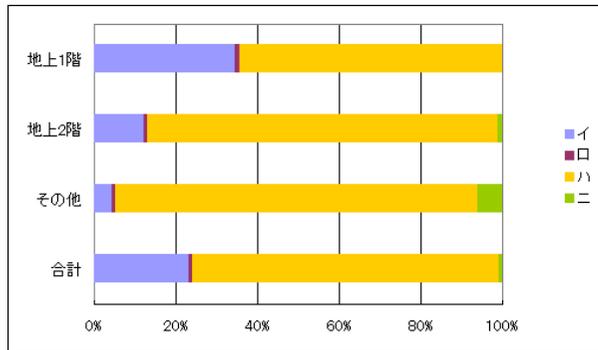
#### a 住戸の出入口

		イ	ロ	ハ	ニ	合計
地上1階	戸数	23,197	2	54,514	725	78,438
	%	29.6%	0.0%	69.5%	0.9%	100.0%
地上2階	戸数	69	1	120	74,226	74,416
	%	0.1%	0.0%	0.2%	99.7%	100.0%
その他	戸数	3	1	3	4,076	4,083
	%	0.1%	0.0%	0.1%	99.8%	100.0%
全体	戸数	23,269	4	54,638	79,028	156,939
	%	14.8%	0.0%	34.8%	50.4%	100.0%



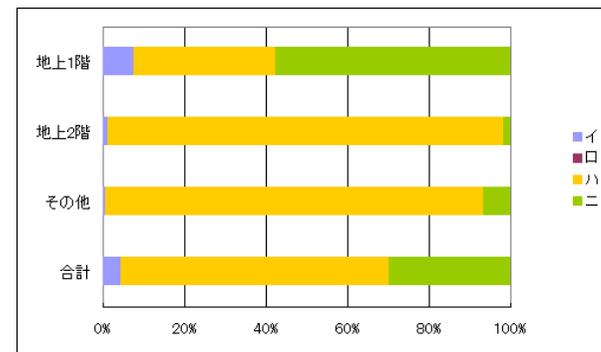
b 地面から開口部の下端までの高さが 2m以下、又は、バルコニー等から開口部の下端までの高さが 2m以下であって、かつ、バルコニー等から当該開口部までの水平距離が 0.9m以下であるもの（aに該当するものを除く。）

		イ	ロ	ハ	ニ	合計
地上1階	戸数	27,093	866	50,404	75	78,438
	%	34.5%	1.1%	64.3%	0.1%	100.0%
地上2階	戸数	9,030	727	63,777	883	74,417
	%	12.1%	1.0%	85.7%	1.2%	100.0%
その他	戸数	174	34	3,622	253	4,083
	%	4.3%	0.8%	88.7%	6.2%	100.0%
全体	戸数	36,297	1,627	117,804	1,211	156,940
	%	23.1%	1.0%	75.1%	0.8%	100.0%



c a及びbに掲げるもの以外のもの

		イ	ロ	ハ	ニ	合計
地上1階	戸数	5,807	13	27,354	45,264	78,438
	%	7.4%	0.0%	34.9%	57.7%	100.0%
地上2階	戸数	949	13	72,073	1,380	74,415
	%	1.3%	0.0%	96.9%	1.9%	100.0%
その他	戸数	25	3	3,778	277	4,083
	%	0.6%	0.1%	92.5%	6.8%	100.0%
全体	戸数	6,781	29	103,206	46,922	156,938
	%	4.3%	0.0%	65.8%	29.9%	100.0%



## 第2章 平成23年度 建設住宅性能評価書(新築)データ (共同住宅等)

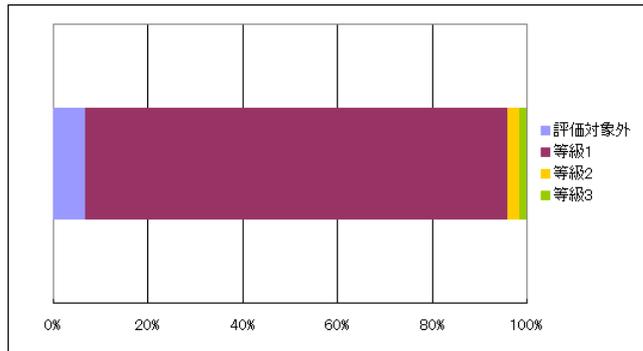
### 1. 構造の安定に関すること

#### 1-1 耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止)

地震に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ

	評価対象外※	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	5,579	71,762	2,063	1,149	80,553
%	6.9%	89.1%	2.6%	1.4%	100.0%

※1-3において免震建築物であるとされたもの。

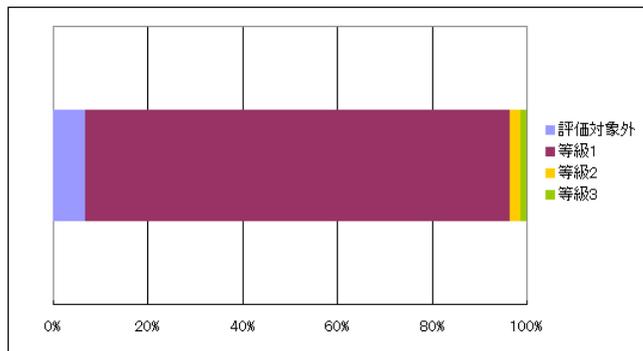


#### 1-2 耐震等級 (構造躯体の損傷防止)

地震に対する構造躯体の損傷 (大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷) のしにくさ

	評価対象外※	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	5,579	72,190	1,725	1,059	80,553
%	6.9%	89.6%	2.1%	1.3%	100.0%

※1-3において免震建築物であるとされたもの。

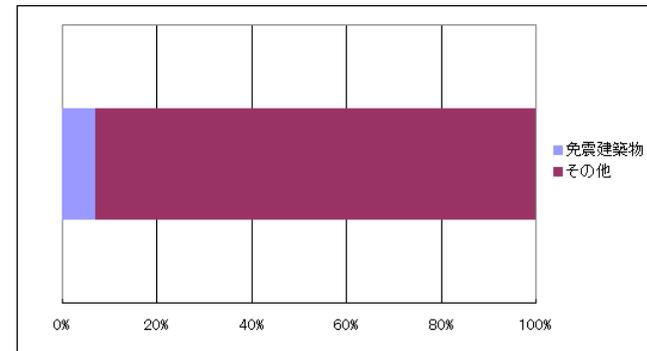


#### 1-3 その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)

評価対象建築物が免震建築物であるか否か

免震建築物  その他

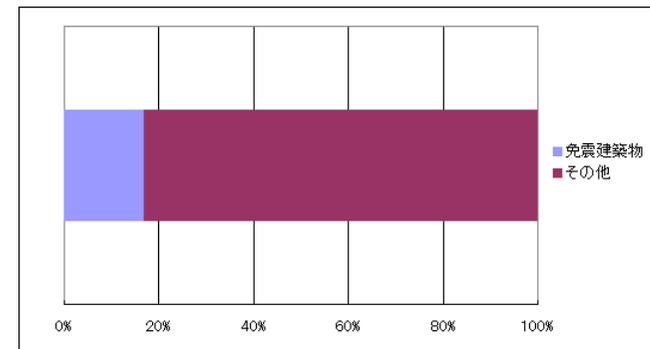
	免震建築物	その他	合計
戸数	5,615	74,754	80,369
%	7.0%	93.0%	100.0%



#### 1-4 耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)

暴風に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ及び構造躯体の損傷 (大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷) のしにくさ

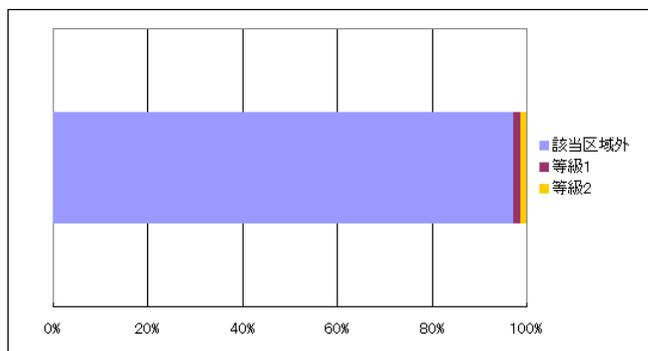
	等級1	等級2	合計
戸数	13,541	67,012	80,553
%	16.8%	83.2%	100.0%



1-5 耐積雪等級（構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止）

屋根の積雪に対する構造躯体の倒壊、崩壊等のしにくさ及び構造躯体の損傷（大規模な修復工事を要する程度の著しい損傷）のしにくさ

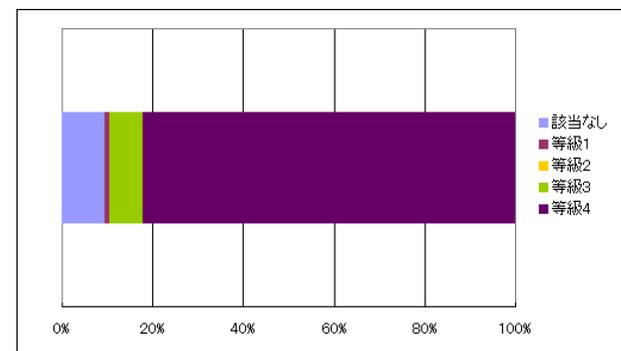
	該当区域外	等級1	等級2	合計
戸数	78,388	1,054	1,111	80,553
%	97.3%	1.3%	1.4%	100.0%



2-2 感知警報装置設置等級（他住戸等火災時）

評価対象住戸の同一階又は直下の階にある他住戸等において発生した火災の早期の覚知のしやすさ

	該当なし	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	7,559	942	3	5,834	66,215	80,553
%	9.4%	1.2%	0.0%	7.2%	82.2%	100.0%

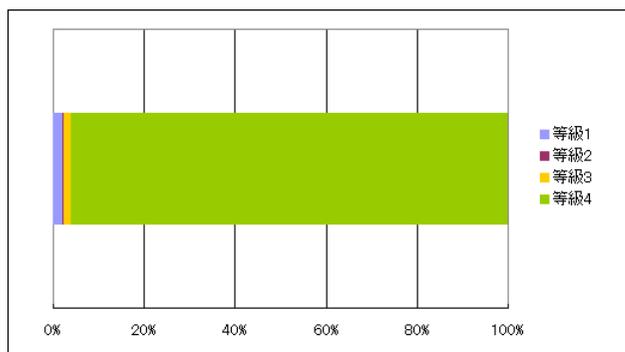


2 火災時の安全に関すること

2-1 感知警報装置設置等級（自住戸火災時）

評価対象住戸において発生した火災の早期の覚知のしやすさ

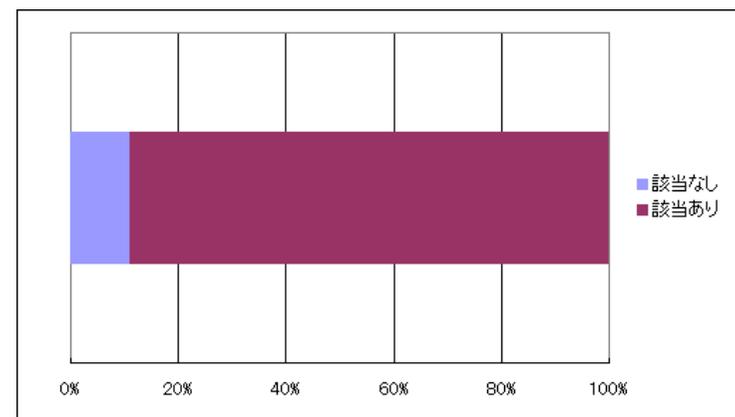
	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	1,678	243	1,306	77,326	80,553
%	2.1%	0.3%	1.6%	96.0%	100.0%



2-3 避難安全対策（他住戸等火災時・共用廊下）

評価対象住戸の同一階又は直下の階にある他住戸等における火災発生時の避難を容易とするために共用廊下に講じられた対策

	該当なし	該当あり	合計
戸数	8,875	71,678	80,553
%	11.0%	89.0%	100.0%



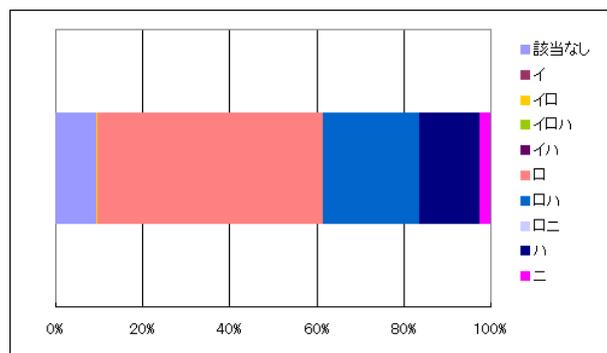
## 2-4 脱出対策（火災時）

通常の歩行経路が使用できない場合の緊急的な脱出のための対策

イ. 直通階段に直接通ずるバルコニー ロ. 隣戸に通ずるバルコニー ハ. 避難器具 ニ. その他

	該当なし	イ	イロ	イロハ	イハ
戸数	7,542	153	146	18	15
%	9.4%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%

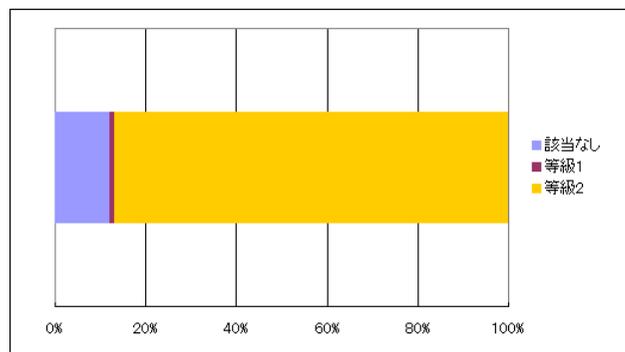
	ロ	ロハ	ロニ	ハ	ニ	合計
戸数	41,568	18,052	3	11,083	1,973	80,553
%	51.6%	22.4%	0.0%	13.8%	2.4%	100.0%



## 2-5 耐火等級（延焼のおそれのある部分〔開口部〕）

延焼のおそれのある部分の開口部に係る火災による火炎を遮る時間の長さ

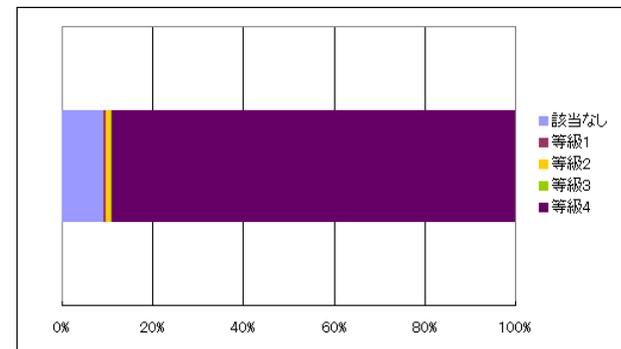
	該当なし	等級1	等級2	合計
戸数	9,732	911	69,910	80,553
%	12.1%	1.1%	86.8%	100.0%



## 2-6 耐火等級（延焼のおそれのある部分〔開口部以外〕）

延焼のおそれのある部分の外壁等（開口部以外）に係る火災による火熱を遮る時間の長さ

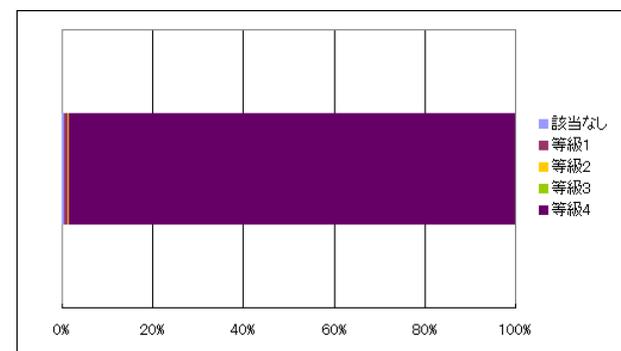
	該当なし	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	7,320	486	819	302	71,626	80,553
%	9.1%	0.6%	1.0%	0.4%	88.9%	100.0%



## 2-7 耐火等級（界壁及び界床）

住戸間の界壁及び界床に係る火災による火熱を遮る時間の長さ

	該当なし	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	512	619	60	156	79,206	80,553
%	0.6%	0.8%	0.1%	0.2%	98.3%	100.0%

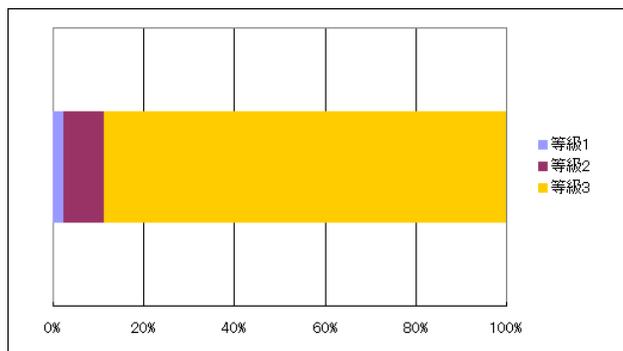


### 3.劣化の軽減に関すること

#### 3-1 劣化対策等級（構造躯体等）

構造躯体等に使用する材料の交換等大規模な改修工事を必要とするまでの期間を伸長するため必要な対策の程度

	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	1,918	7,106	71,529	80,553
%	2.4%	8.8%	88.8%	100.0%

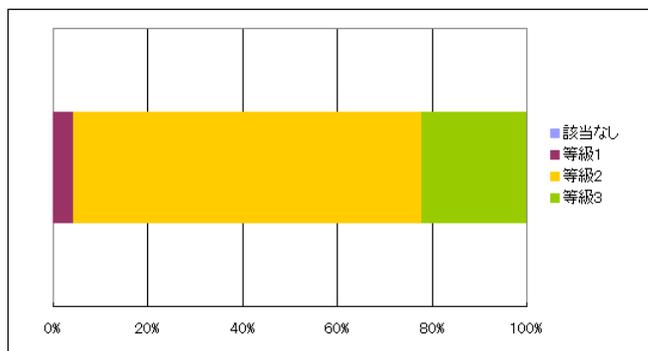


### 4.維持管理・更新への配慮に関すること

#### 4-1 維持管理対策等級（専用配管）

専用の給排水管・給湯管及びガス管の維持管理（清掃、点検及び補修）を容易とするため必要な対策の程度

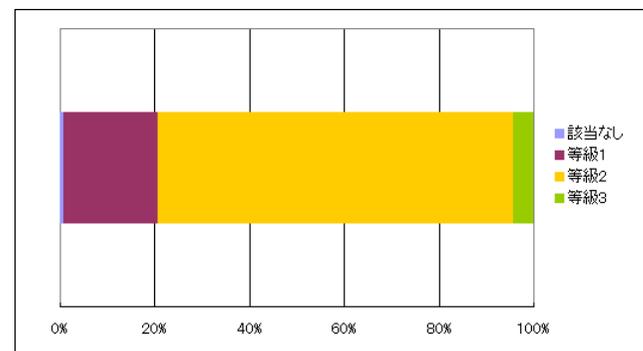
	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	1	3,531	59,087	17,934	80,553
%	0.0%	4.4%	73.4%	22.3%	100.0%



#### 4-2 維持管理対策等級（共用配管）

共用の給排水管・給湯管及びガス管の維持管理（清掃、点検及び補修）を容易とするため必要な対策の程度

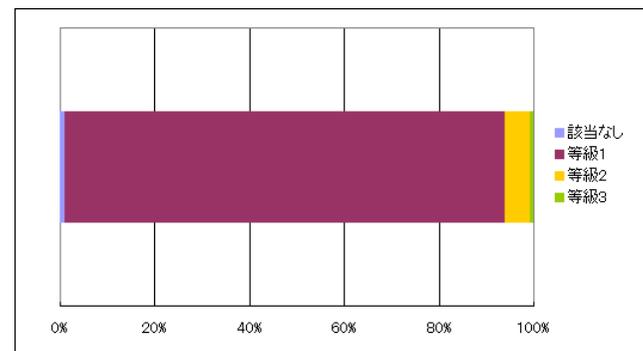
	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	662	16,032	60,386	3,473	80,553
%	0.8%	19.9%	75.0%	4.3%	100.0%



#### 4-3 更新対策（共用排水管）

共用排水管の更新を容易とするための必要な対策

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	856	74,671	4,273	569	80,369
%	1.1%	92.9%	5.3%	0.7%	100.0%



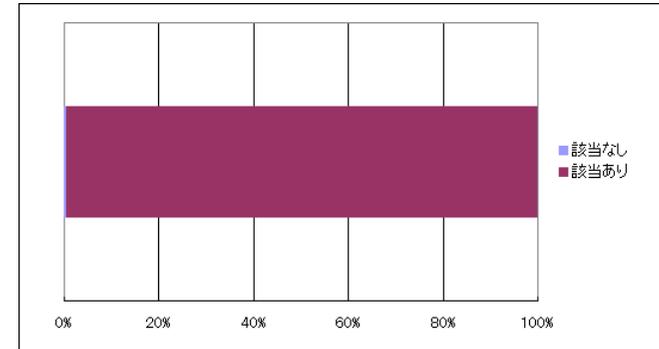
4-4 更新対策（住戸専用部）

住戸専用部の間取りの変更を容易とするため必要な対策

同住宅及び長屋のみが対象

該当あり（共同住宅及び長屋） 該当なし（上記以外の共同住宅等）

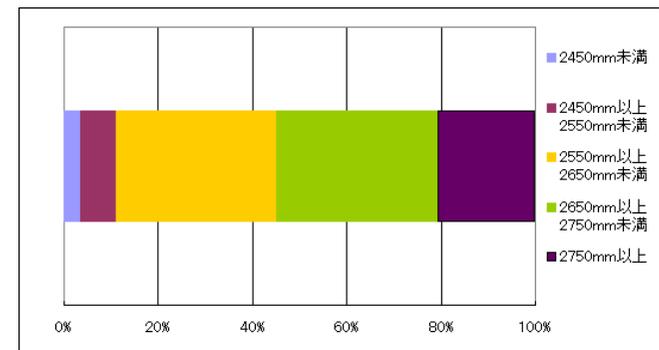
	該当なし	該当あり	合計
戸数	415	79,954	80,369
%	0.5%	99.5%	100.0%



住戸専用部の構造躯体等の床版等に挟まれた空間の高さ

躯体天井高：[                    mm 以上]

	2450mm未満	2450mm以上 2550mm未満	2550mm以上 2650mm未満	2650mm以上 2750mm未満	2750mm以上	合計
戸数	3,013	6,261	28,139	28,527	17,103	83,043
%	3.6%	7.5%	33.9%	34.4%	20.6%	100.0%



共用排水立管が設置されている位置

イ. 共用廊下に面する共用部分    ロ. 外壁面、吹き抜け等の住戸外周部

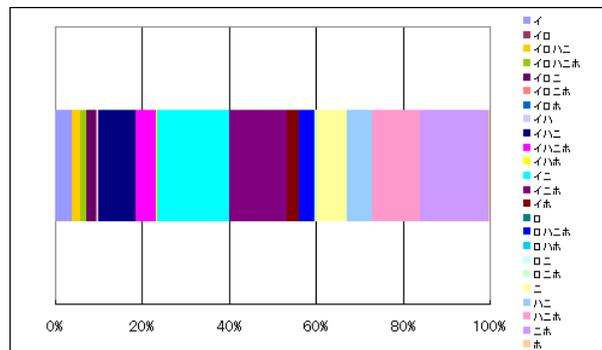
ハ. バルコニー    ニ. 住戸専用部    ホ. その他

	イ	イロ	イロハニ	イロハニホ	イロニ	イロニホ	イロホ
戸数	3,017	96	1,583	961	1,794	177	28
%	3.8%	0.1%	2.0%	1.2%	2.3%	0.2%	0.0%

	イハ	イハニ	イハニホ	イハホ	イニ	イニホ
戸数	277	6,699	3,899	182	13,042	10,694
%	0.3%	8.4%	4.9%	0.2%	16.4%	16.4%

	イホ	ロ	ロハニホ	ロハホ	ロニ	ロニホ
戸数	2,204	19	2,690	63	99	351
%	2.8%	0.0%	3.4%	0.1%	0.1%	0.4%

	ニ	ハニ	ハニホ	ニホ	ホ	合計
戸数	5,587	4,434	8,883	12,505	229	79,513
%	7.0%	5.6%	11.2%	15.7%	0.3%	100.0%

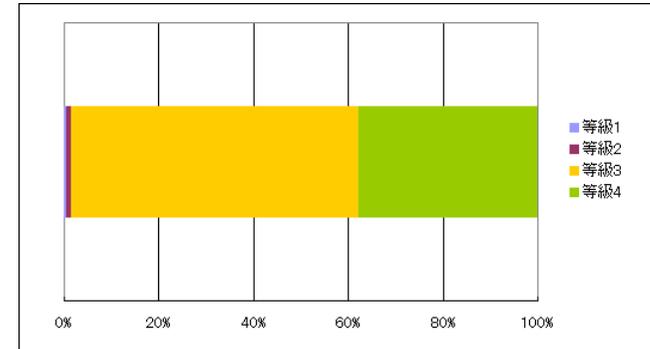


## 5. 温熱環境に関すること

### 5-1 省エネルギー対策等級

暖冷房に使用するエネルギーの削減のための断熱化等による対策の程度

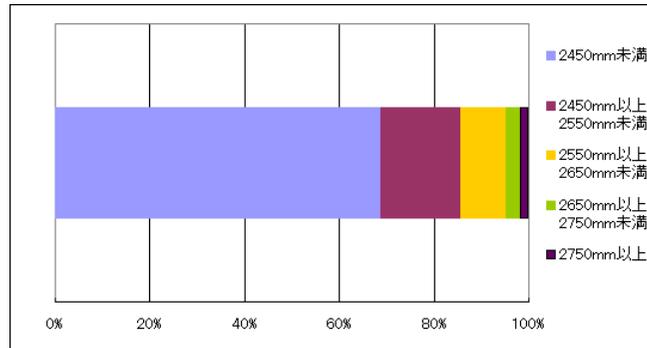
	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	463	818	48,913	30,359	80,553
%	0.6%	1.0%	60.7%	37.7%	100.0%



異なる躯体天井高が存在するときの最も低い部分（はり、傾斜屋根等）の空間の内法高さ

躯体天井高 [最低内法] [ mm 以上]

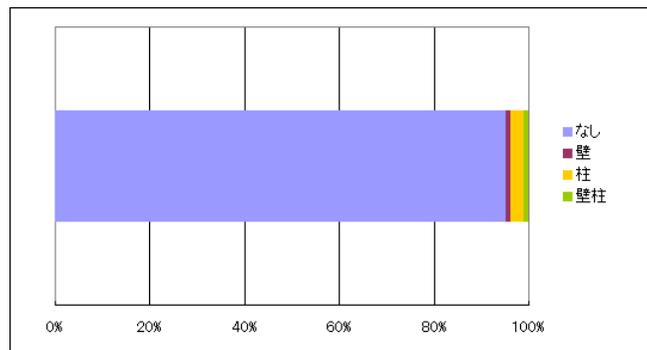
	2450mm未満	2450mm以上 2550mm未満	2550mm以上 2650mm未満	2650mm以上 2750mm未満	2750mm以上	合計
戸数	45,617	11,305	6,313	2,014	1,120	66,369
%	68.7%	17.0%	9.5%	3.0%	1.7%	100.0%



住戸専用部の構造躯体の壁又は柱で間取りの変更の障害となりうるものの有無

□あり (□壁 □柱) □なし

	なし	壁	柱	壁柱	合計
戸数	76,032	833	2,278	815	80,553
%	94.4%	1.0%	2.8%	1.0%	100.0%



## 6.空気環境に関すること

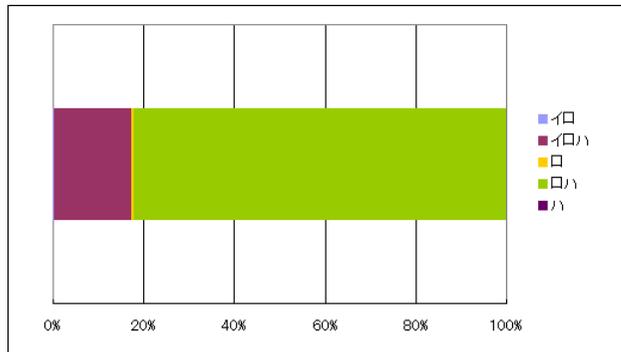
### 6-1 ホルムアルデヒド対策（内装及び天井裏等）

居室の内装の仕上げ及び換気等の措置のない天井裏等の下地材等からのホルムアルデヒドの発散量を少なくする対策

- イ. 製材等（丸太及び単層フローリングを含む）を使用する
- ロ. 特定建材を使用する
- ハ. その他の建材を使用する

（結果が「特定建材を使用する」の場合のみ、以下の「ホルムアルデヒド発散等級」の結果を表示する）

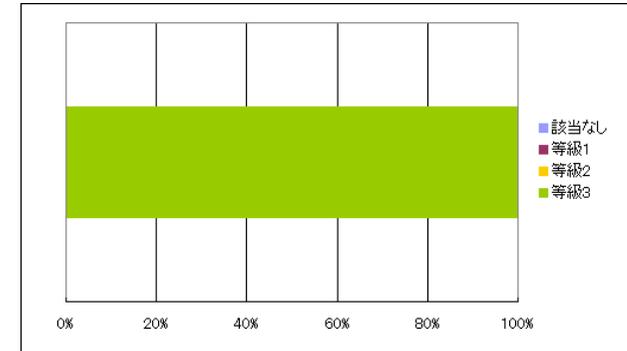
	イロ	イロハ	ロ	ロハ	ハ	合計
戸数	216	13,641	586	66,087	23	80,553
%	0.3%	16.9%	0.7%	82.0%	0.0%	100.0%



### ホルムアルデヒド対策／ホルムアルデヒド発散等級（内装）

居室の内装の仕上げに使用される特定建材からのホルムアルデヒドの発散量の少なさ

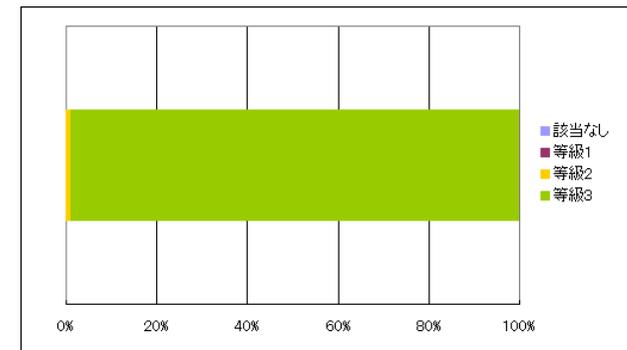
	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	2	101	91	79,812	80,006
%	0.0%	0.1%	0.1%	99.8%	100.0%



### ホルムアルデヒド対策／ホルムアルデヒド発散等級（天井裏等）

換気等の措置のない天井裏等の下地材等に使用される特定建材からのホルムアルデヒドの発散量の少なさ

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	12	0	800	79,019	79,831
%	0.0%	0.0%	0.1%	99.0%	100.0%



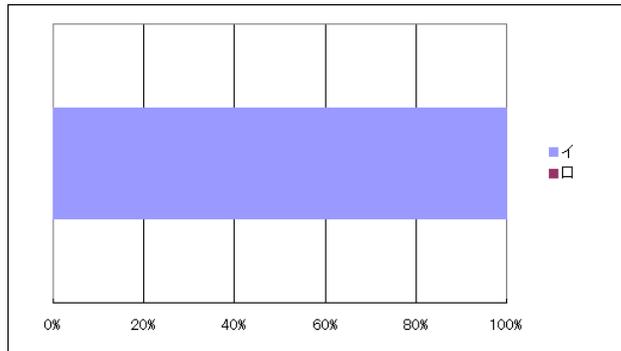
6-2 換気対策

居室の換気対策

室内空気中の汚染物質及び湿気を屋外に除去するための必要な換気対策

住宅の居室に必要な換気量が確保できる対策：イ. 機械換気設備 ロ. その他

	イ	ロ	合計
戸数	80,530	23	80,553
%	100.0%	0.0%	100.0%

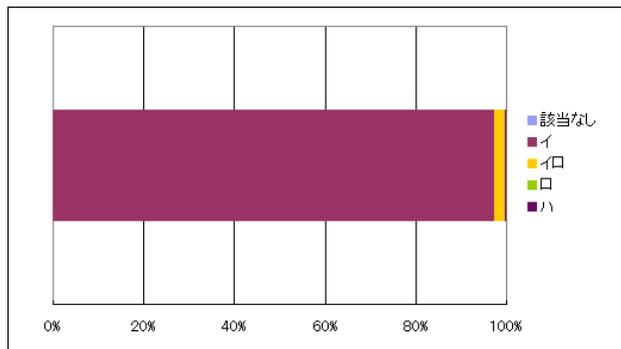


局所換気対策（便所）

室内空気中の汚染物質及び湿気を屋外に除去するための必要な換気対策

便所：イ. 機械換気設備 ロ. 換気のできる窓 ハ. なし

	該当なし	イ	イロ	ロ	ハ	合計
戸数	23	78,446	1,958	13	113	80,553
%	0.0%	97.4%	2.4%	0.0%	0.1%	100.0%

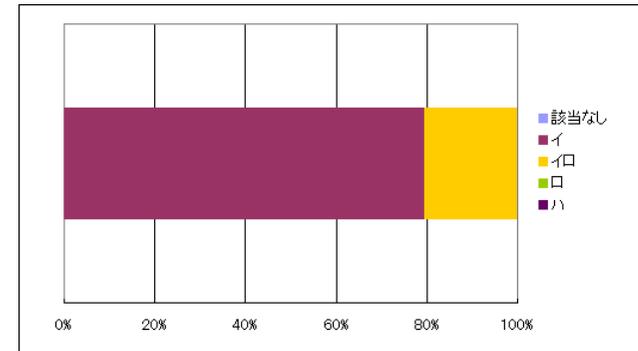


局所換気対策（浴室）

室内空気中の汚染物質及び湿気を屋外に除去するための必要な換気対策

浴室：イ. 機械換気設備 ロ. 換気のできる窓 ハ. なし

	該当なし	イ	イロ	ロ	ハ	合計
戸数	25	64,041	16,393	9	85	80,553
%	0.0%	79.5%	20.4%	0.0%	0.1%	100.0%

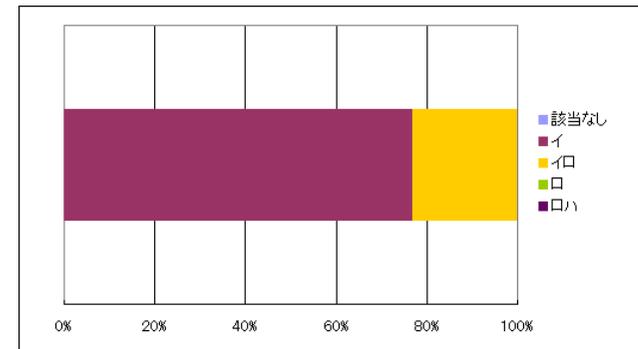


局所換気対策（台所）

室内空気中の汚染物質及び湿気を屋外に除去するための必要な換気対策

台所：イ. 機械換気設備 ロ. 換気のできる窓 ハ. なし

	該当なし	イ	イロ	ロ	ロハ	合計
戸数	24	61,919	18,531	6	73	80,553
%	0.0%	76.9%	23.0%	0.0%	0.1%	100.0%

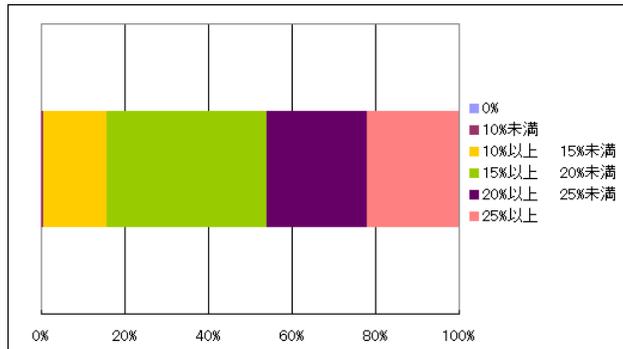


## 7.光・視環境に関すること

### 7-1 単純開口率

居室の外壁又は屋根に設けられた開口部の面積の床面積に対する割合の大きさ

	0%未満	10%未満	10%以上 15%未満	15%以上 20%未満	20%以上 25%未満	25%以上	合計
戸数	23	413	12,231	30,880	19,337	17,669	80,530
%	0.0%	0.5%	15.2%	38.3%	24.0%	21.9%	100.0%

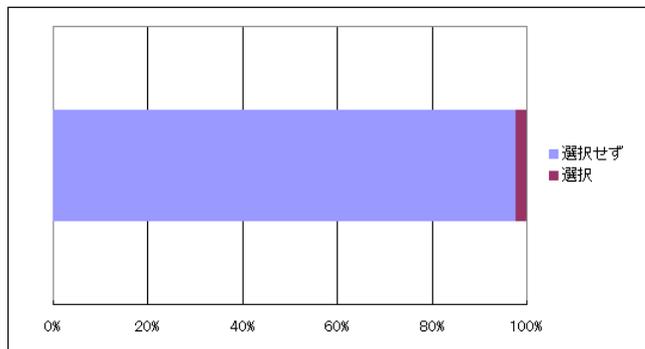


## 8.音環境に関すること

### 8-1 重量床衝撃音対策

居室に係る上下階との界床の重量床衝撃音（重量のあるものの落下や足音の衝撃音）を遮断する対策

	選択せず	選択	合計
戸数	78,634	1,919	80,553
%	97.6%	2.4%	100.0%



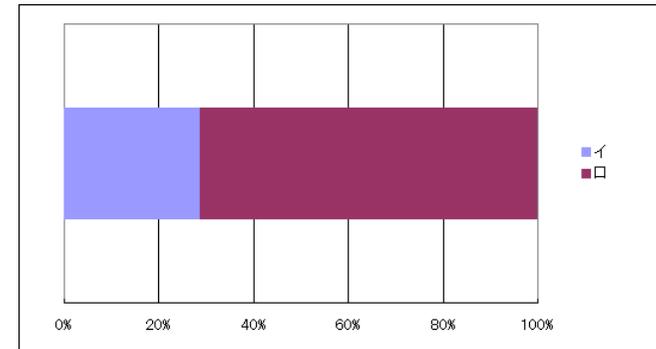
### 重量床衝撃音対策

(イ：重量床衝撃音対策等級 □：相当スラブ厚（重量床衝撃音）)

居室に係る上下階との界床の重量床衝撃音（重量のあるものの落下や足音の衝撃音）を遮断する対策

選択：イ、重量床衝撃音対策等級 □、相当スラブ厚（重量床衝撃音）

	イ	□	合計
戸数	551	1,368	1,919
%	28.7%	71.3%	100.0%

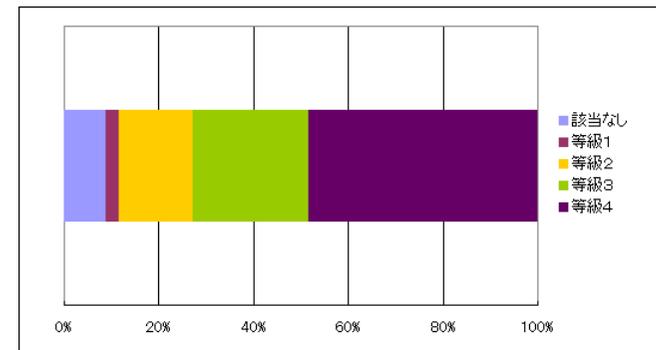


### 8-1 イ、重量音対策等級

居室に係る上下階との界床の重量床衝撃音（重量のあるものの落下や足音の衝撃音）を遮断する対策

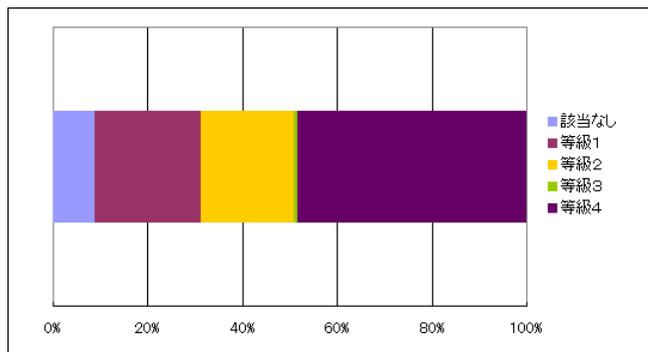
・上階 最高

	該当なし	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	43	13	75	118	233	482
%	8.9%	2.7%	15.6%	24.5%	48.3%	100.0%



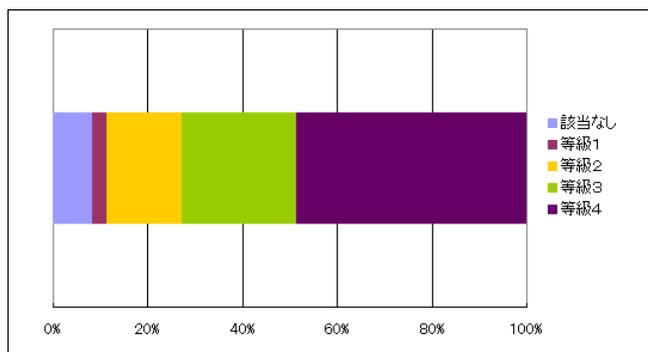
・上階 最低

	該当なし	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	43	108	94	4	233	482
%	8.9%	22.4%	19.5%	0.8%	48.3%	100.0%



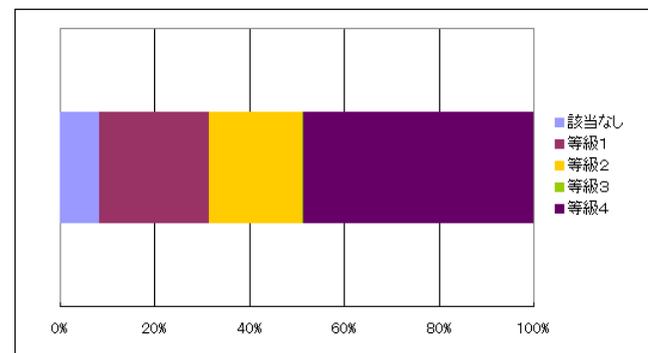
・下階 最高

	該当なし	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	40	14	76	117	233	480
%	8.3%	2.9%	15.8%	24.4%	48.5%	100.0%



・下階 最低

	該当なし	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	40	111	95	1	233	480
%	8.3%	23.1%	19.8%	0.2%	48.5%	100.0%



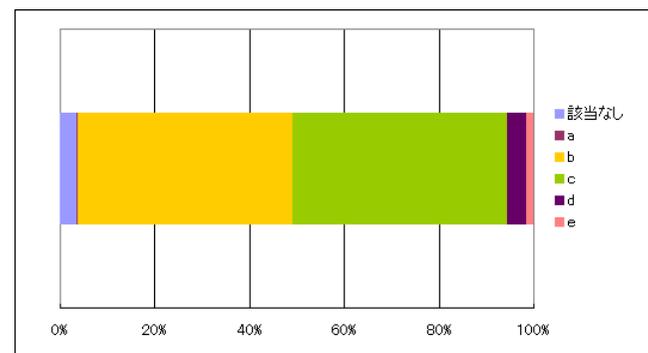
8-1 ロ. 相当スラブ厚（重量床衝撃音）

居室に係る上下階との界床の軽量床衝撃音（軽量のものの落下の衝撃音）を遮断する対策

- a. 27cm以上 b. 20cm以上 c. 15cm以上 d. 11cm以上 e. その他

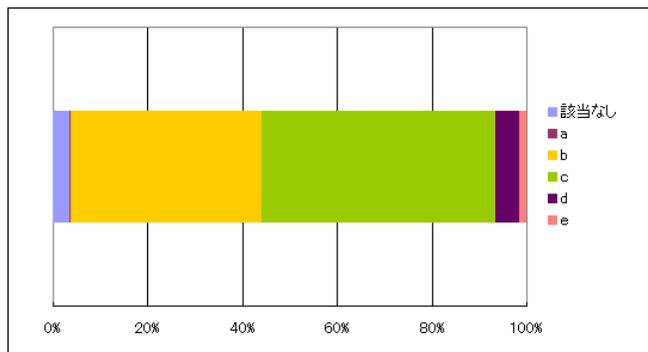
・上階 最高

	該当なし	a	b	c	d	e	合計
戸数	43	5	565	568	49	20	1,250
%	3.4%	0.4%	45.2%	45.4%	3.9%	1.6%	100.0%



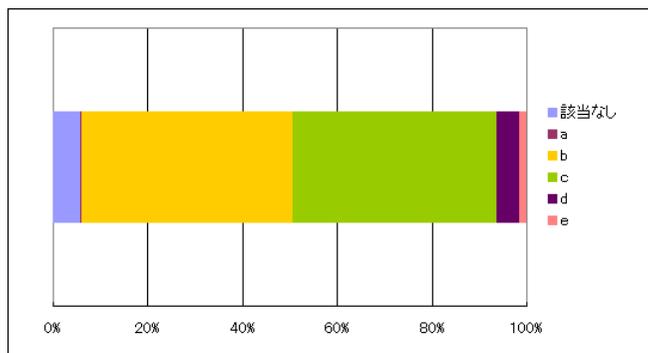
・上階 最低

	該当なし	a	b	c	d	e	合計
戸数	43	5	502	617	63	20	1,250
%	3.4%	0.4%	40.2%	49.4%	5.0%	1.6%	100.0%



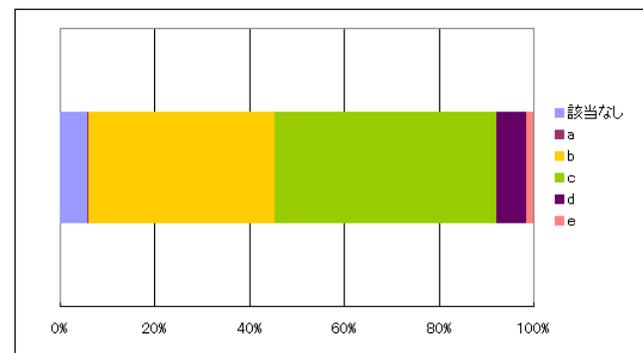
・下階 最高

	該当なし	a	b	c	d	e	合計
戸数	72	5	562	542	59	20	1,260
%	5.7%	0.4%	44.6%	43.0%	4.7%	1.6%	100.0%



・下階 最低

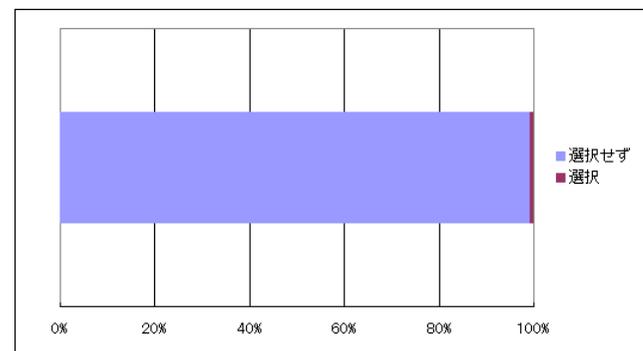
	該当なし	a	b	c	d	e	合計
戸数	72	5	494	591	78	20	1,260
%	5.7%	0.4%	39.2%	46.9%	6.2%	1.6%	100.0%



8-2 軽量床衝撃音対策等級

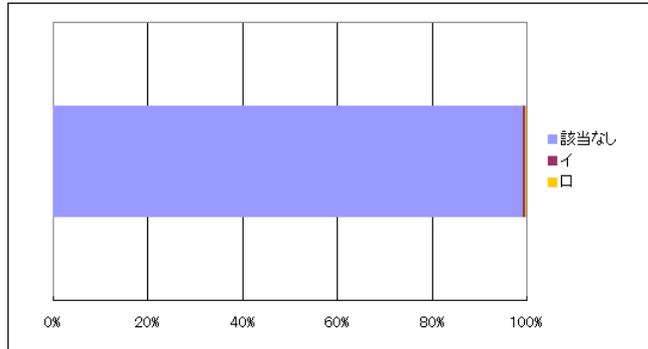
居室に係る上下階との界床の軽量床衝撃音（軽量のものの落下の衝撃音）を遮断する対策

	選択せず	選択	合計
戸数	79,898	655	80,553
%	99.2%	0.8%	100.0%

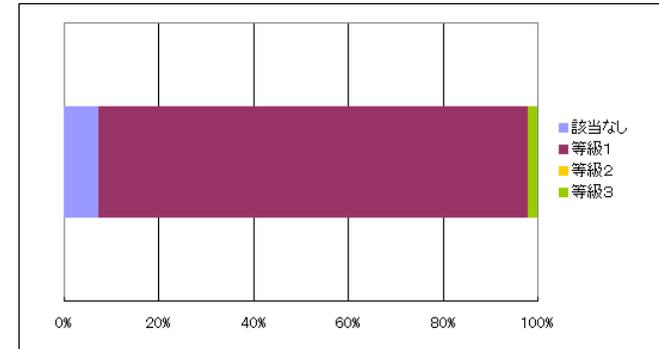


選択：イ. 軽量床衝撃音対策等級 口. 軽量床衝撃音レベル低減量（床仕上げ構造）

	該当なし	イ	口	合計
戸数	79,898	528	127	80,553
%	99.2%	0.7%	0.2%	100.0%

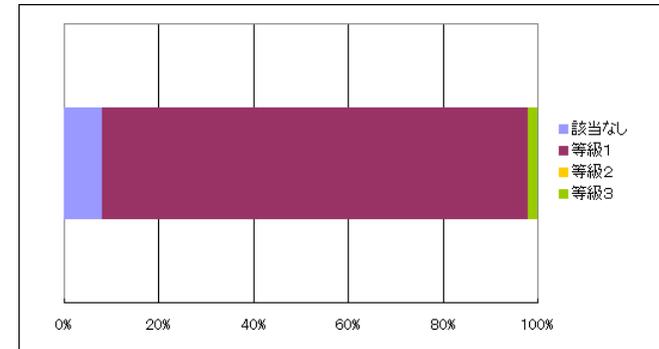


	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	34	429	0	10	473
%	7.2%	90.7%	0.0%	2.1%	100.0%



・下階 最高

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	38	422	0	10	470
%	8.1%	89.8%	0.0%	2.1%	100.0%

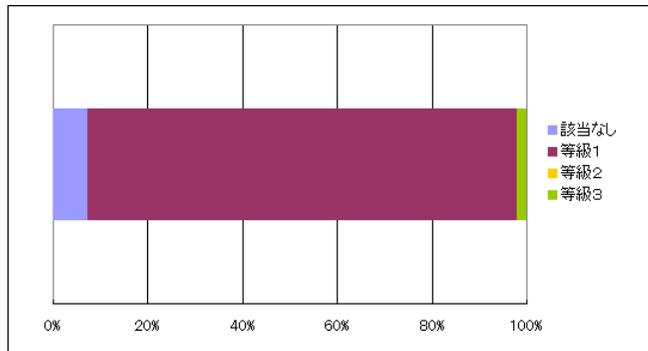


## 8-2 イ. 軽量床衝撃音対策等級

居室に係る上下階との界床の軽量床衝撃音（軽量のものの落下の衝撃音）を遮断する対策

・上階 最高

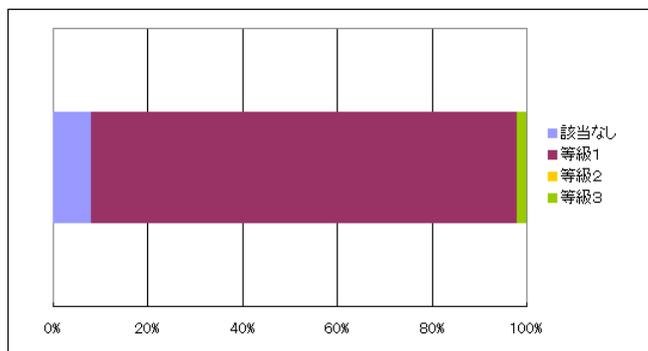
	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	34	429	0	10	473
%	7.2%	90.7%	0.0%	2.1%	100.0%



・上階 最低

・下階 最低

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	38	422	0	10	470
%	8.1%	89.8%	0.0%	2.1%	100.0%



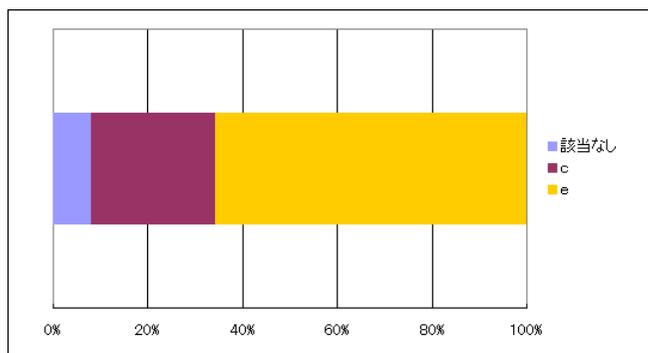
8-2 軽量床衝撃音レベル低減量（床仕上げ構造）

居室に係る上下階との界床の軽量床衝撃音（軽量のものの落下の衝撃音）を遮断する対策

- a. 30db 以上 b. 25db 以上 c. 20db 以上 d. 15db 以上 e. その他

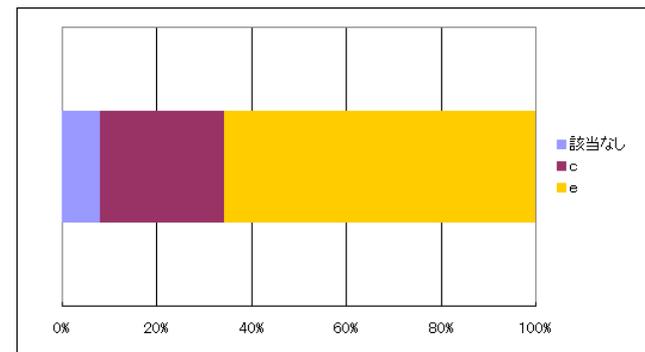
・上階 最高

	該当なし	c	e	合計
戸数	8	26	65	99
%	8.1%	26.3%	65.7%	100.0%



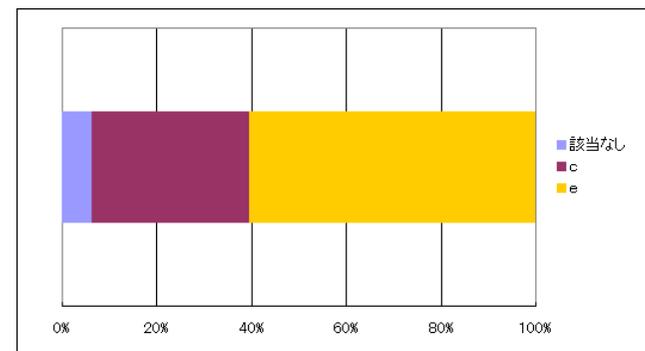
・上階 最低

	該当なし	c	e	合計
戸数	8	26	65	99
%	8.1%	26.3%	65.7%	100.0%



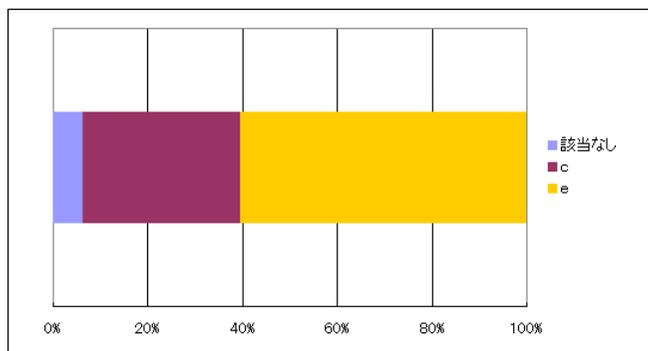
・下階 最高

	該当なし	c	e	合計
戸数	7	36	66	109
%	6.4%	33.0%	60.6%	100.0%



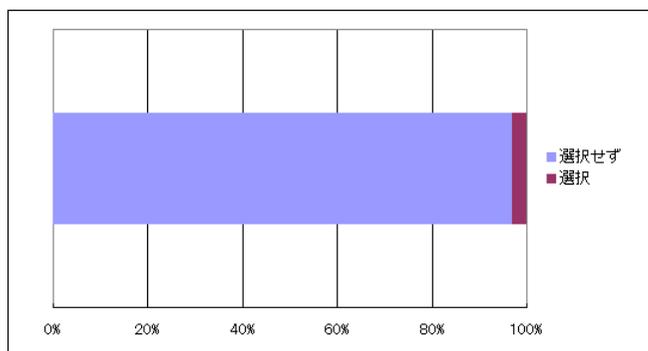
・下階 最低

	該当なし	c	e	合計
戸数	7	36	66	109
%	6.4%	33.0%	60.6%	100.0%



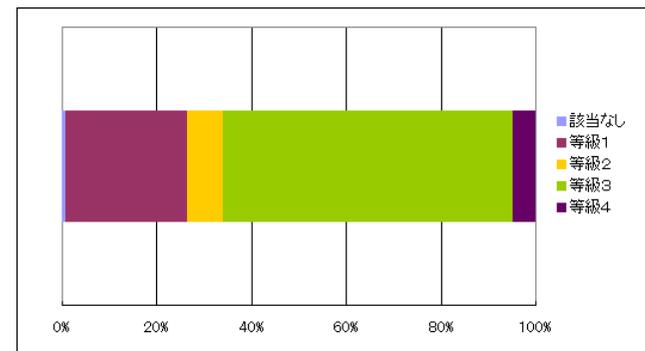
8-3 透過損失等級（界壁）

	選択せず	選択	合計
戸数	78,088	2,465	80,553
%	96.9%	3.1%	100.0%



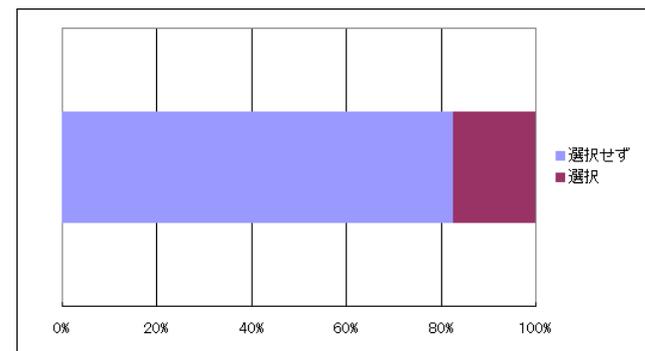
居室の界壁の構造による空気伝搬音の遮断の程度

	該当なし	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	21	634	190	1,521	118	2,484
%	1.8%	25.5%	7.6%	61.2%	4.8%	100.0%



8-4 透過損失等級（外壁開口部）

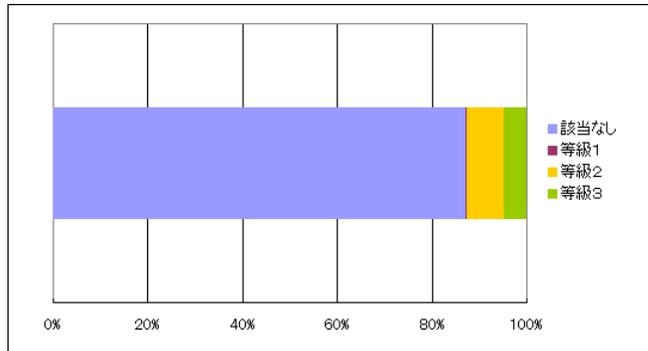
	選択せず	選択	合計
戸数	66,496	14,057	80,553
%	82.5%	17.5%	100.0%



居室の界壁の構造による空気伝搬音の遮断の程度

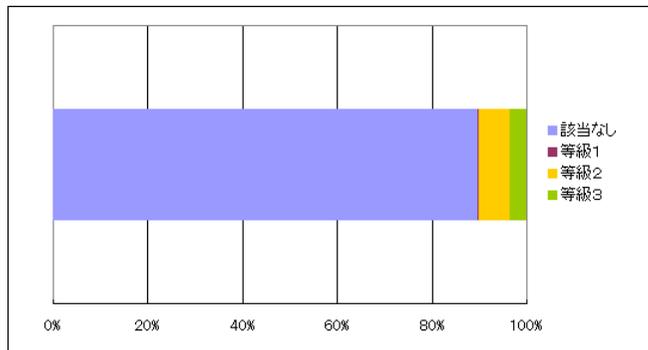
・北面

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	12,266	22	1,106	680	14,074
%	87.2%	0.2%	7.9%	4.8%	100.0%



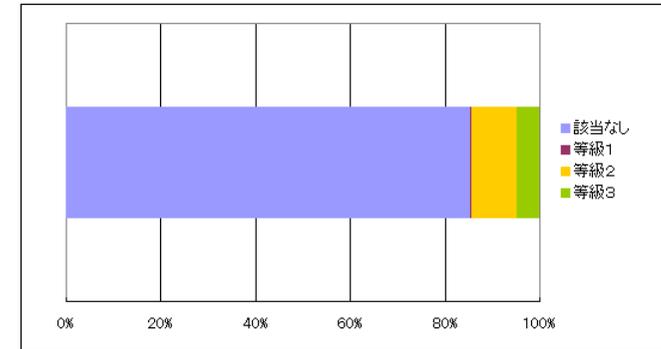
・東面

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	12,629	44	901	500	14,074
%	89.7%	0.3%	6.4%	3.6%	100.0%



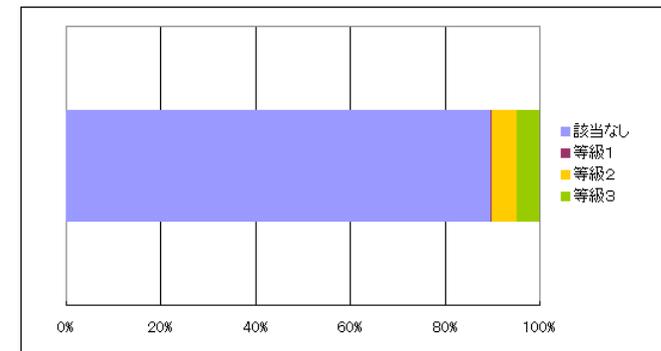
・南面

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	12,026	35	1,327	686	14,074
%	85.4%	0.2%	9.4%	4.9%	100.0%



・西面

	該当なし	等級1	等級2	等級3	合計
戸数	12,637	33	743	661	14,074
%	89.8%	0.2%	5.3%	4.7%	100.0%

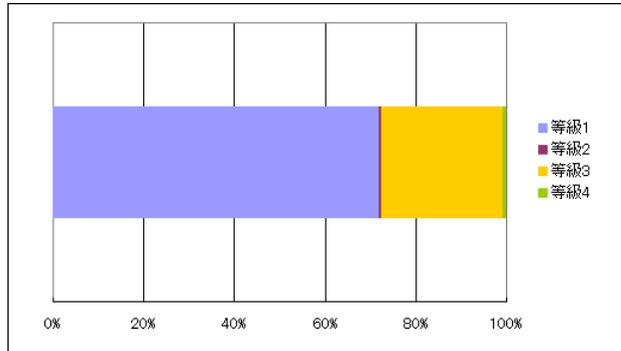


## 9.高齢者等への配慮に関すること

### 9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分）

住戸内における高齢者等への配慮のために必要な対策の程度

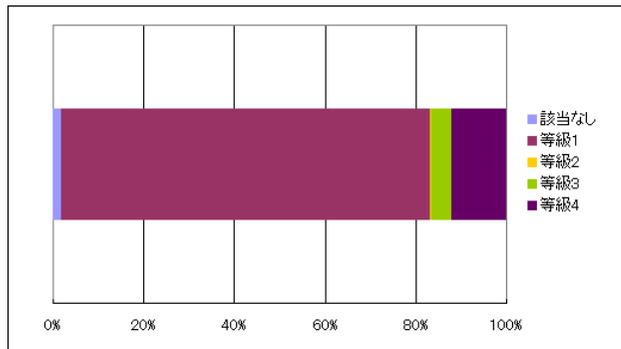
	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	57,836	592	21,480	645	80,553
%	71.8%	0.7%	26.7%	0.8%	100.0%



### 9-2 高齢者等配慮対策等級（共用部分）

共同住宅等の主に建物出入口から住戸の玄関までの間における高齢者等への配慮のために必要な対策の程度

	該当なし	等級1	等級2	等級3	等級4	合計
戸数	1,475	65,632	76	3,633	9,737	80,553
%	1.8%	81.5%	0.1%	4.5%	12.1%	100.0%



## 10.防犯に関すること

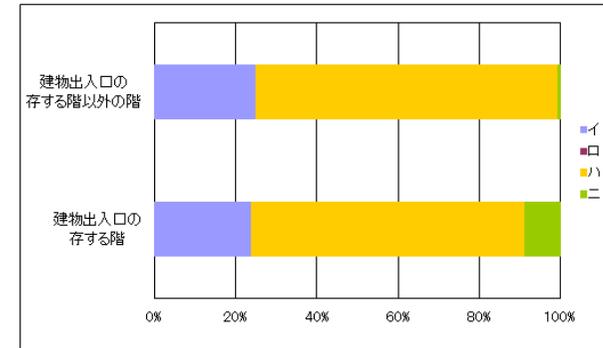
### 10-1 開口部の侵入防止対策等級

通常想定される侵入行為による外部からの侵入を防止するための対策

イ	すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である。
ロ	すべての開口部が侵入防止対策上有効な措置の講じられた開口部である。ただし、シャッター又は雨戸によってのみ対策が講じられている開口部が含まれる。
ハ	その他
ニ	該当する開口部なし

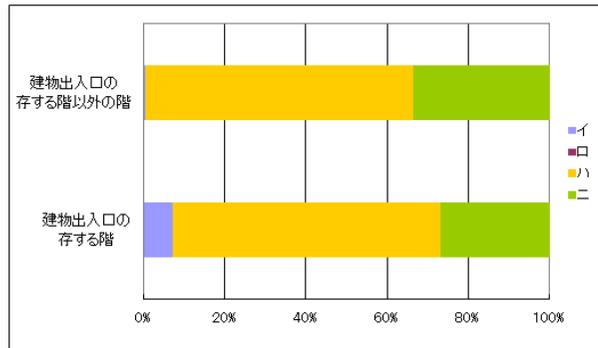
#### a 住戸の出入口

		イ	ロ	ハ	ニ	合計
建物出入口の存する階以外の階	戸数	18,302	0	54,471	665	73,438
	%	24.9%	0.0%	74.2%	0.9%	100.0%
建物出入口の存する階	戸数	1,981	1	5,588	737	8,307
	%	23.8%	0.0%	67.3%	8.9%	100.0%
合計	戸数	20,283	1	60,059	1,402	81,745
	%	24.8%	0.0%	73.5%	1.7%	100.0%



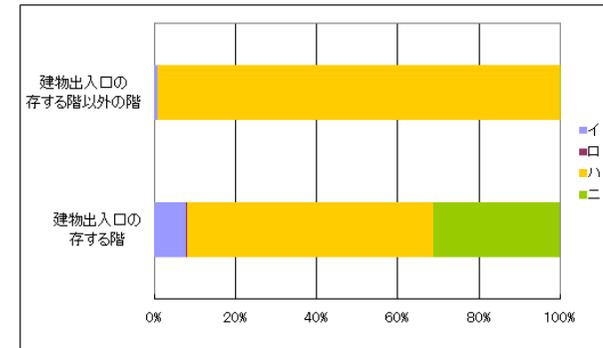
b (i) 地面から開口部の下端までの高さが2m以下、又は、共用廊下若しくは共用階段から開口部の下端までの高さが2m以下であって、かつ、共用廊下若しくは共用階段から開口部までの水平距離が0.9m以下であるもの（aに該当するものを除く。）

		イ	ロ	ハ	ニ	合計
建物出入口の存する階以外の階	戸数	315	57	48,160	24,400	72,932
	%	0.4%	0.1%	66.0%	33.5%	100.0%
建物出入口の存する階	戸数	126	0	1,175	480	1,781
	%	7.1%	0.0%	66.0%	27.0%	100.0%
合計	戸数	441	57	49,335	24,880	74,713
	%	0.6%	0.1%	66.0%	33.3%	100.0%



b (ii) 地面から開口部の下端までの高さが2m以下、又は、バルコニー等から開口部の下端までの高さが2m以下であって、かつ、バルコニー等から当該開口部までの水平距離が0.9m以下であるもの（aに該当するものを除く。）

		イ	ロ	ハ	ニ	合計
建物出入口の存する階以外の階	戸数	451	1	58,076	107	58,635
	%	0.8%	0.0%	99.0%	0.2%	100.0%
建物出入口の存する階	戸数	626	24	4,943	2,546	8,139
	%	7.7%	0.3%	60.7%	31.3%	100.0%
合計	戸数	1,077	25	63,019	2,653	66,774
	%	1.6%	0.0%	94.4%	4.0%	100.0%



c a及びbに掲げるもの以外のもの

		イ	ロ	ハ	ニ	合計
建物出入口の存する階以外の階	戸数	133	0	22,175	50,382	72,690
	%	0.2%	0.0%	30.5%	69.3%	100.0%
建物出入口の存する階	戸数	106	9	1,167	6,873	8,155
	%	1.3%	0.1%	14.3%	84.3%	100.0%
合計	戸数	239	9	23,342	57,255	80,845
	%	0.3%	0.0%	28.9%	70.8%	100.0%

